

My Dear Little Bunny 日本語訳

ある日、小さなウサギさんが古い箱を見つけ、開けてみました。

「わあ、コスチュームがたくさん。」

小さなウサギさんは、思いました。「ぼくって何だっけ？うーん、えーっと。」

「かあさん、かあさん。見て。ぼく、ライオンだよ。ガルルル・・・でしょ、でしょ。」

「ライオンには、大きなお口があるわ。坊やにはあるのかな？」

「ないよ。」

「うーん、じゃあ、たぶん・・・」

ガサゴソ ガサゴソ。

「かあさん、かあさん。見て。ぼく、シマウマだよ。パカパカ、パカパカ。でしょ、でしょ。」

「シマウマには、黒と白のシマシマがあるわ。坊やにはあるのかな？」

「ないよ。」

「うーん、それじゃあ、たぶん・・・」

ガサゴソ ガサゴソ。

「かあさん、かあさん。見て。ぼく、ゾウだよ。ドスン、ドスン。でしょ、でしょ。」

「ゾウには、長いお鼻があるわ。坊やにはあるのかな？」

「ないよ。」

「うーん・・・僕は何だったかな？」

ガサゴソ ガサゴソ。

「かあさん、かあさん。見て。ぼく、ペンギンだよ。ヨチヨチ。でしょ、でしょ。」

「ペンギンには、くちばしがあるわ。坊やにはあるのかな？」

「ないよ。」

「うーん・・・じゃあ、たぶん・・・」

ガサゴソ ガサゴソ。

「かあさん、かあさん。見て。ぼく、カンガルーだよ。ボイン、ボイン。でしょ、でしょ。」

「カンガルーには、長いしっぽがあるわ。坊やにはあるのかな？」

「ないよ。」

「さあ、それを脱いで見せてごらん。」

「あー、分かった、分かった。坊やは私の可愛い小さなうさちゃんだわ。ウサギよ。ごらんなさい。」

「ぼくは、ウサギだ。ピョン、ピョン。そうだ、そうだ。」

「私の小さなウサギさん、自分が何だったのか忘れちゃっていたの。ほらね。」